

科目名	専門演習Ⅱ SeminarⅡ						
科目担当者	岡 夏樹 OKA Natsuki						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>輪講とプロジェクトを並行して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 輪講：AI・データサイエンス分野に必要な知識や技能を深める。題材の候補は、Python、機械学習、データ分析、AI分野のチュートリアル等。 ● プロジェクト：輪講で身につけたことを生かして、AIやデータサイエンス技術を応用するプロジェクトを実施する。希望者がいれば、対話システムコンテスト等への参加も可能。 						
授業の到達目標	<p>① AI・データサイエンス分野に必要な知識や技能を深め、生成AIが使いこなせるようになる。具体的な目標は学生ごとに異なるが、たとえば、既存のAIプログラムに対して、自分がやりたいことを実現する上で必要な追加修正が、簡単なものならある程度できるようになる。</p> <p>② プロジェクト実施に役立つデザイン思考を身につける。</p> <p>③ プロジェクトを楽しみ、自分が成長するとともに、周りの人の成長を助けられる。</p>						
授業計画・内容	1	輪講(Python)1	16	輪講(データ分析)1			
	2	↓	プロジェクト1 構想立案	17	↓	プロジェクト2 構想立案	
	3	輪講2	↓	18	輪講2	↓	
	4	↓	情報収集	19	↓	情報収集	
	5	輪講3	↓	20	輪講3	↓	
	6	↓	システム作成1	21	↓	システム作成1	
	7	輪講4	↓	22	輪講4	↓	
	8	↓	システム作成2	23	↓	システム作成2	
	9	輪講(機械学習)1	↓	24	輪講(AI)1	↓	
	10	↓	評価・改良	25	↓	評価・改良	
	11	輪講2	↓	26	輪講2	↓	
	12	↓	発表準備	27	↓	発表準備	
	13	輪講3	↓	28	輪講3	↓	
	14	↓	発表	29	↓	発表	
	15	輪講4		30	輪講4		
授業外学修 (事前学修)	<ul style="list-style-type: none"> ● 輪講テーマの予習 (毎週1時間程度) ● 授業時間外のプロジェクト活動 (毎週2時間程度) 						
授業外学修 (事後学修)	<ul style="list-style-type: none"> ● 輪講テーマの復習 (毎週1時間程度) 						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 輪講での発表・質問・討論・クラスへの貢献 ● プロジェクトへの貢献・自分の成長・他の人の成長を支援 				50%	①	
				50%	②③		
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書							
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ● 教養としてのデータサイエンス, 北川源四郎/竹村彰通 編, 内田誠一他著, 講談社 ● The Batch: Weekly AI news, https://read.deeplearning.ai/the-batch/ ● 発想する会社!: 世界最高のデザイン・ファーム IDEO に学ぶイノベーションの技法, トム・ケリー他, 早川書房 						
その他	<p>どんな学生の受講が望ましいか: ゼミを自分たちで作ろうという意欲。みんなでワイワイやるのが好き。AI・データサイエンスに興味がある。教員と対等に議論したり学生どうし切磋琢磨できるようになりたい。よりよい社会にするため考え、行動したい。産経大のAI・データサイエンス盛り上げ隊の隊員になりたい。教員の興味関心(ことばから感性まで幅広く人の心のしくみを解き明かしたい)と重なりがある。生成AIを使いこなしたい。</p>						